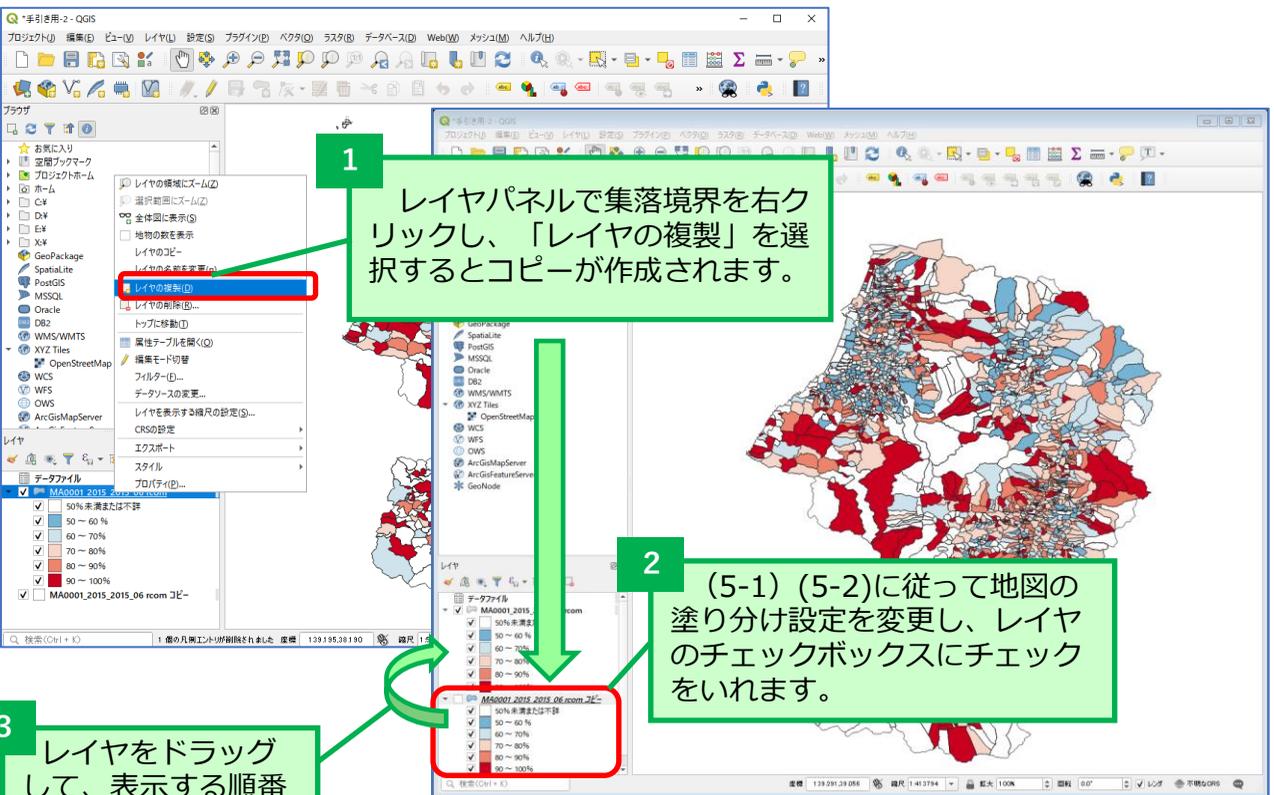


(6) 地図の重ね合わせ表示

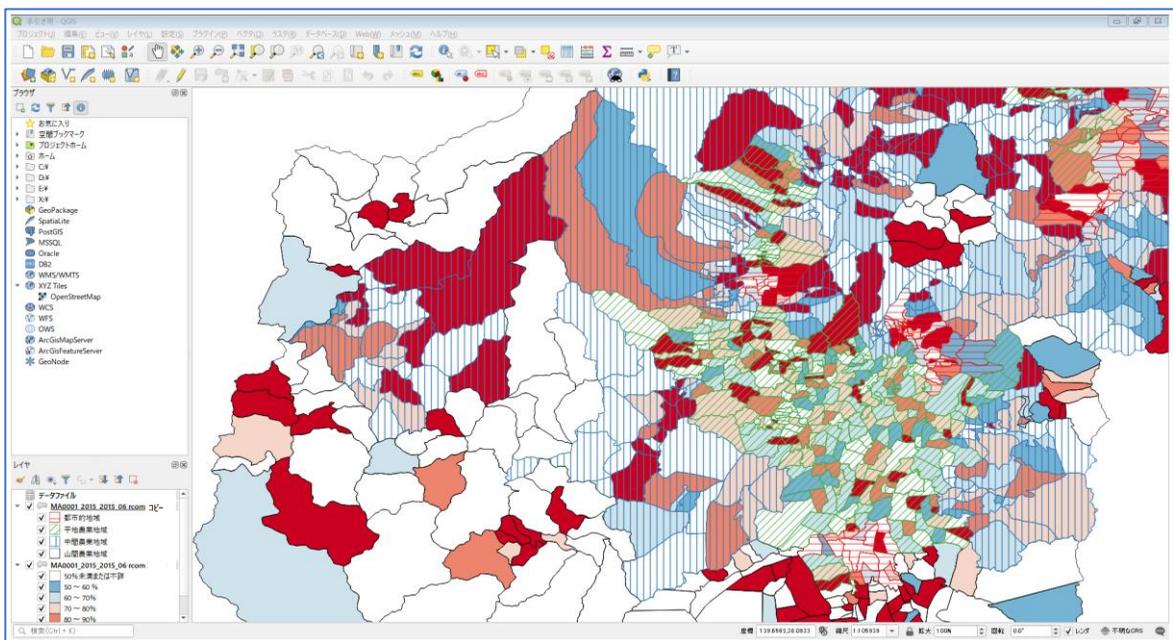
- (5-1) で作成した地図の複製を作ります。
- 複製した地図に対して、(5-2) の設定をします。
- 地図レイヤの入れ替えにより、重ね合わせの表示を調整します。



1 レイヤパネルで集落境界を右クリックし、「レイヤの複製」を選択するとコピーが作成されます。

2 (5-1) (5-2)に従って地図の塗り分け設定を変更し、レイヤのチェックボックスにチェックをいれます。

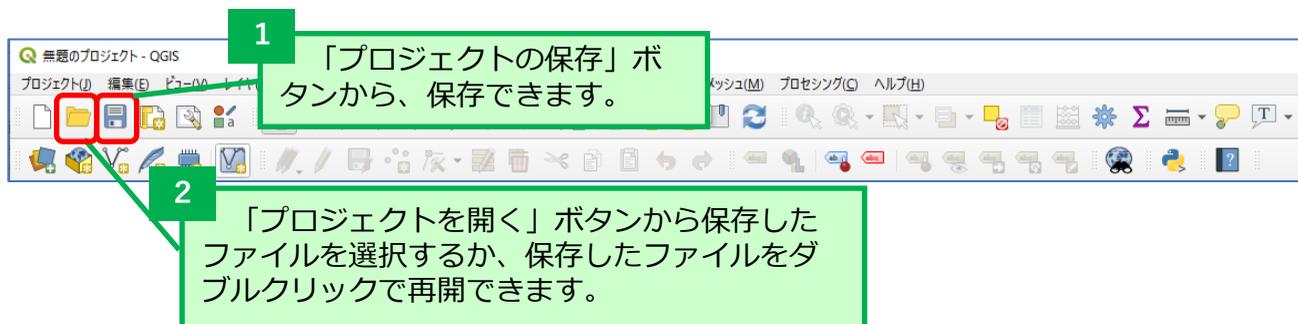
3 レイヤをドラッグして、表示する順番を変更します。



<QGIS : こんなときどうする?>

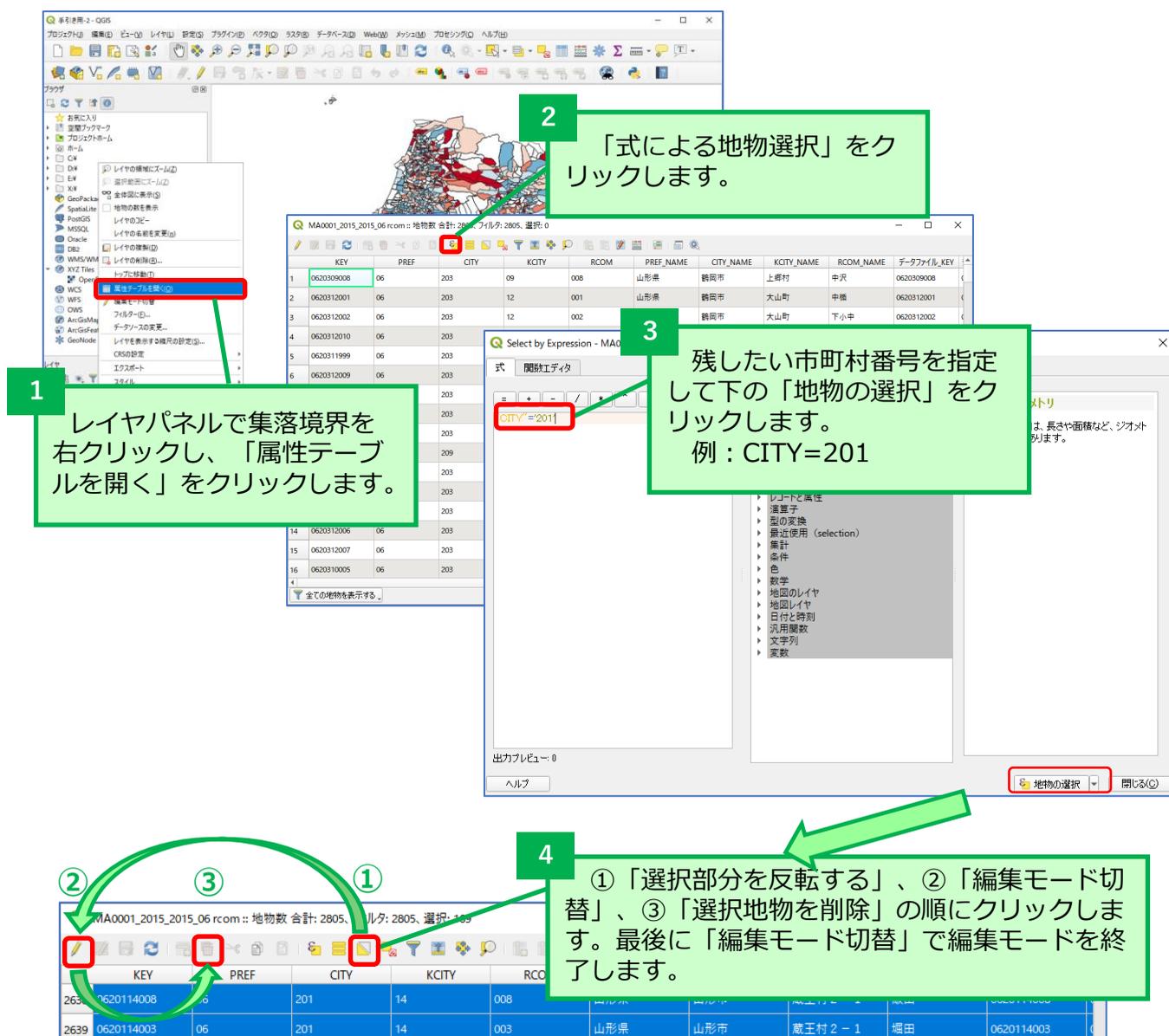
① 作業の途中で経過を保存したい

一般的なソフトウェアと同様に、「プロジェクトの保存」、「プロジェクトを開く」から作業の中断、再開ができます。

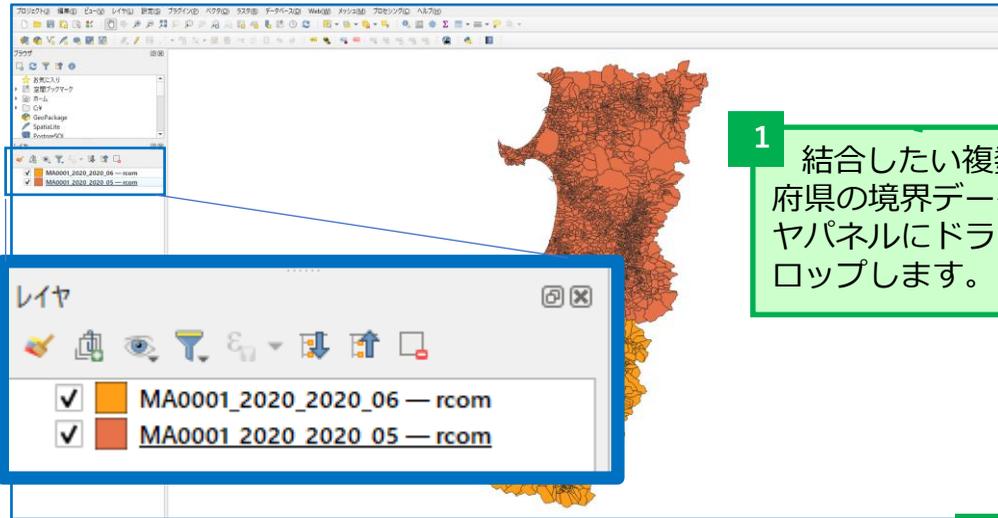


② 特定の市町村のみの地図を切り出したい

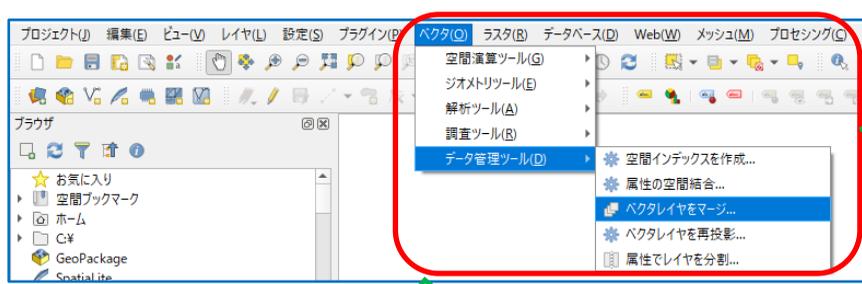
地図の属性情報から、該当市町村以外の地域を選択して削除します。



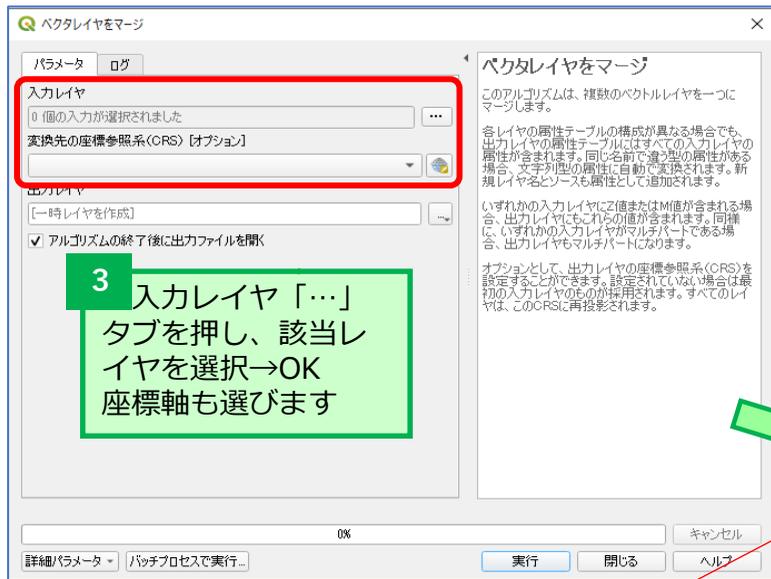
③ 複数の都道府県を1つの地図レイヤにしたい



1 結合したい複数の都道府県の境界データをレイヤパネルにドラッグ&ドロップします。



2 メニューから「ベクタ」>「データ管理ツール」>「ベクタレイヤをマージ」を選びます。

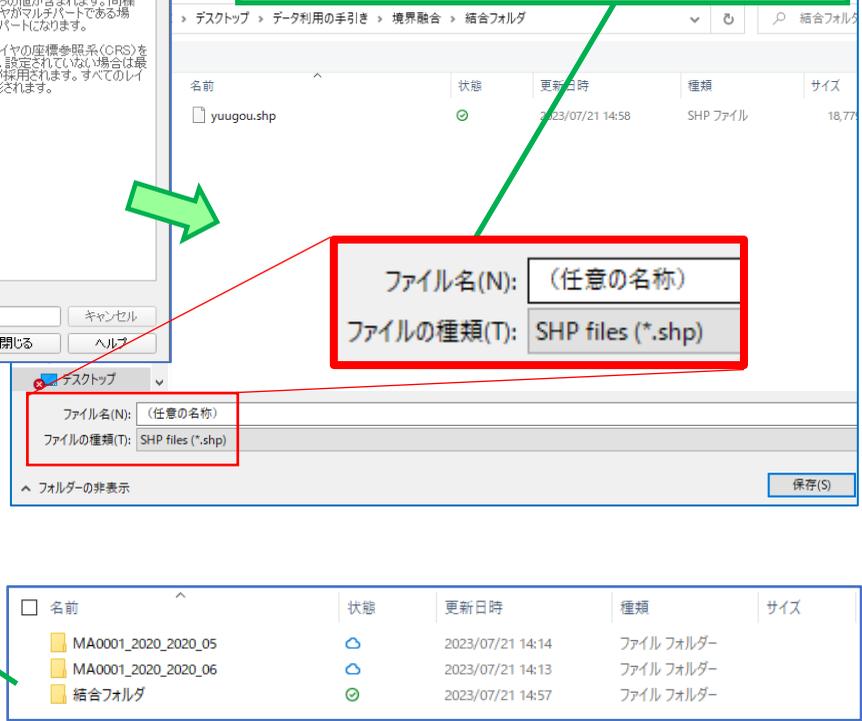


3 入力レイヤ「…」タブを押し、該当レイヤを選択→OK 座標軸も選びます

4 出力レイヤ「…」タブを押し、「ファイルを保存」から保存先を選択します。ファイル名を入力し、「ファイルの種類」を「SHP files (*.shp)」にします。その後、「保存」→「実行」の順にクリックします。



5 選択した保存先に結合されたファイルが保存されます（今回の場合「結合フォルダ」というフォルダを作成し、ここに格納しました）。



④ 地図を印刷したい

用紙のイメージ上に地図や凡例を配置して、印刷を行います。

1 アイコン「新規印刷レイアウト」をクリックします。

2 OKをクリックします。

3 「地図を追加」、「凡例を追加」をクリックして、地図の描画領域上に配置します。

4 アイテム（追加した地図や凡例など）を右クリックし「アイテムのプロパティ」を選択し、それぞれの表示を調整します。用紙の設定は、地図の描画領域上で右クリックし、「ページのプロパティ」を選択しここで設定します。

5 印刷します。PDFや画像形式でも保存できます。

⑤ 地図を画像として保存したい

作業中の地図を画像ファイルとして出力します。凡例や縮尺をつけた画像ファイルが必要な場合は、「地図を印刷したい」の項目を見てください。

プロジェクトの「インポートとエクスポート」>「地図を画像にエクスポート」をクリックします。

⑥ 属性データが数値として扱えない

CSVファイルから文字列としてQGISに取り込まれた項目を数値に変換し、新しい属性データとして追加します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「フィールド」を選択します。

2 「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

テキスト(string) : 文字列
 整数(64bit) : 整数
 倍精度(double) : 小数点付き数値

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性(フィールド)の名前」は数値に変換したい項目の名前(任意の名前)を入力し、「フィールド型」は「小数点付き数値(real)」を選択します。

4 式に「to_real("【項目名】")」と入力し、OKを押すと、データ変換した項目が追加されます。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

Id	名前	別名	型	型名	長さ	精度
abc 0	KEY		テキスト (string)	String	12	0
abc 1	PREF		テキスト (string)	String	2	0
abc 2	CITY		テキスト (string)	String	3	0
abc 3	KCITY		テキスト (string)	String	3	0
abc 4	RCOM		テキスト (string)	String	3	0
abc 5	PREF_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 6	CITY_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 7	KCITY_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 8	RCOM_NAME		テキスト (string)	String	36	0
abc 9	RCOM_KANA		テキスト (string)	String	64	0
12: 10	HININTEI		整数 (64bit)	Integer64	11	0
1.2 11	基幹的農業従事者		倍精度 (double)	double	10	3
1.2 12	基幹的農業従事者_49歳以下割合		倍精度 (double)	Real	0	0

⑦ 取り込んだデータから分析指標を作成したい

農業集落境界とリンクしたデータを組み合わせて、分析に用いる変数を作成します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「フィールド」を選択します。

2 「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性 (フィールド) の名前」に任意の名前を入力し、「フィールド型」を「小数点付き数値 (real)」にします。

式に変数を作成する数式を入力します。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

Id	名前	タイプ	長さ	精度	
abc 0	KEY	テキスト (string)	String	3	0
abc 1	PREF_NAME	テキスト (string)	String	3	0
abc 2	CITY_NAME	テキスト (string)	String	30	0
abc 3	KCITY_NAME	テキスト (string)	String	30	0
abc 4	RCOM_NAME	テキスト (string)	String	36	0
abc 5	RCOM_KANA	テキスト (string)	String	64	0
abc 6	HININTEI	整数 (64bit)	Integer64	11	0
abc 7	データファイル_65歳以上基幹的農業従事者割合	倍精度 (double)	double	0	0
abc 8	データファイル_農業地域類型_1次分類	整数 (64bit)	longlong	0	0

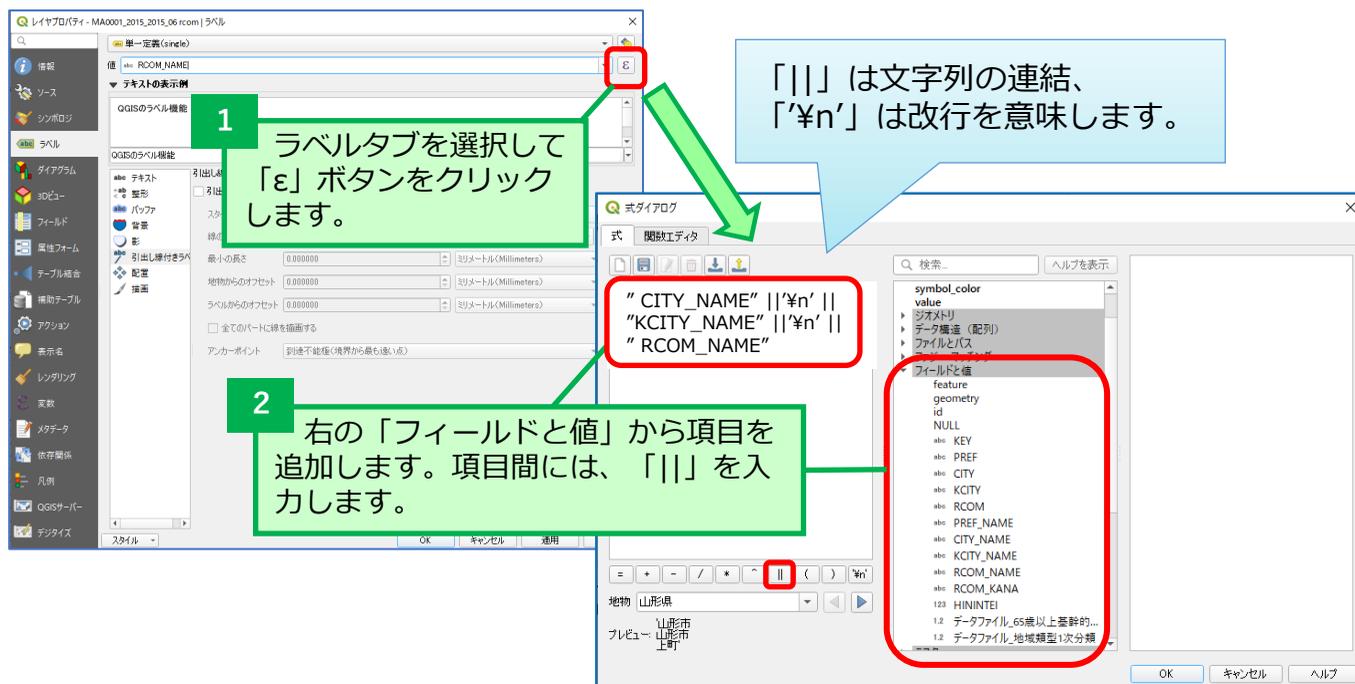
⑧ 集落の名称を表示したい

集落境界レイヤの表示設定を行って、農業集落名称を表示させます。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックします。

2 単一定義を選択して値に「RCOM_NAME」(農業集落名)を設定します。

市町村名と農業集落名など、複数の属性情報を表示する場合は、表示したい内容を式で指定します。



⑨ 農業集落の属性情報を確認したい

選択した農業集落の情報を、サイドパネルに表示させます。

